

2011年5月25日

雑誌業界に携わる皆様

社団法人日本雑誌協会

雑誌業界の今夏（7月～9月）の節電対応について

私ども雑誌協会（加盟95社・石崎孟理事長）は、夏の節電対応を進めていきます。雑誌業界に携わる皆様にも、ぜひともご理解、ご協力を、お願いいたします。

政府の今夏の15%節電（期間は7月～9月22日、9時～20時）に伴い、印刷工業会加盟社（21社）の生産効率が30%以上低下する見込みです。雑誌協会ではこれまで、印刷工業会、日本出版取次協会と今夏の節電対応の検討を重ね対応方針を固めました。

雑誌業界の節電対応は、月の下旬に偏在する雑誌の発売の平準化が主眼になります。取次協会は（定期雑誌、増刊・別冊、ムック、コミックス）を合計した1日あたりの「発売点数250点」を目安に、定期雑誌の発売は原則として通常通りの発売日を順守することを基本に、その他の不定期刊行誌で発行点数、業量の平準化を進めてまいります。そのためには、出版社の理解、協力が必要不可欠になります。

出版社が協力することは下記の3点です。

- ① 週刊誌以外の定期雑誌の48時間の繰上げ進行
 - ・週刊誌は基本日程厳守
 - ・その他雑誌は進行協力 個別日程は印刷会社と相談
- ② 台割（仕様）、部数、配本通知の早期化
 - ・早期の決定、連絡で、印刷生産の早期の組み込み実施
- ③ ゼラ紙・ラフ紙用「特色インキ」を15色に絞り込み
 - ・インキ業界と連携「印刷工業会統一15色基準」

なお、印刷工業会、取次協会との節電対応の指針は別紙のとおりです。

業界で連携して各所でスムーズにバトンを渡し、書店そして雑誌をご愛読いただいて皆様に確実お届けできますよう、関係する皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

政府の節電対策に伴う2011年夏の「雑誌業界の対応方針」

<政府の節電対策>

- 節電目標：一律15%
- 対象時間：9時～20時
- 対象期間：7月1日～9月22日

<印刷業界の影響>

○昼間時間の生産効率が30%～40%低下（印刷工業会出版印刷部会21社）

- ・印刷工業会では全力をあげて出版社はじめ関係先に協力要請
- ・取次作業、製本、加工業界でも影響及ぶ基本は細く長くの作業へ

<雑誌出業界の対応指針>

出版社

- ① 週刊誌以外の定期雑誌の48時間の繰上げ進行
 - ・週刊誌は基本日程厳守
 - ・その他雑誌は進行協力 個別日程は印刷会社と相談
- ② 台割（仕様）、部数、配本通知の早期化
 - ・早期の決定、連絡で、印刷生産の早期の組み込み実施
- ③ ゼラ紙・ラフ紙用「特色インキ」を15色に絞り込み
 - ・インキ業界と連携「印刷工業会統一15色基準」

取次会社

- ① 1日発売点数250点を上限に業量の平準化を図る
- ② 業量平準化は不定期誌（増刊・別冊・ムック・コミックス）が中心
 - ・取次協会雑誌進行委員会が早めに（通常2か月前）出版社の発行予定集約（対象出版社は約400社）
- ③ 夏季統一休暇（8月13日～15日）、連休等は通常の発売日調整
 - ・調整は原則として発売日を繰上げ

☆節電期間の雑誌の発行予定を早めに集約し、その状況を踏まえ、必要に応じて調整していくが、定期雑誌の発売は守られるように、各分野で精一杯の努力を行う。